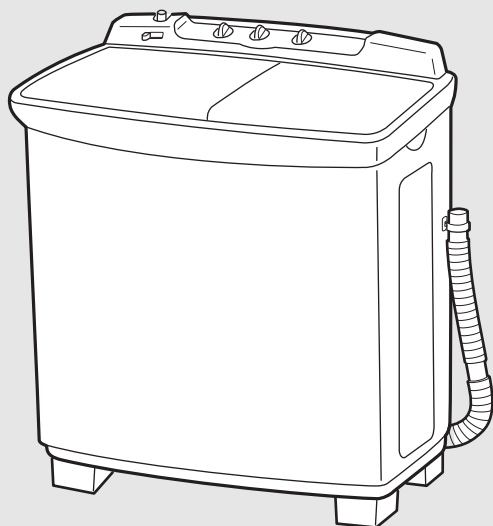


日立2槽式電気洗濯機

ピーエス

エス

PS-80S形



容量8.0kg

50/60Hz共用

このたびは日立2槽式電気洗濯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

「安全上のご注意」→(P.3~5)をお読みいただき、正しくお使いください。

マイページ(日立の家電品お客様サポート)への登録をおすすめします。

さまざまなサービスをご利用いただけます。

- 家電品の登録・管理
- お役立ち情報
- 安全点検サービス割引
- パーツショップ送料特典
- お知らせ



日立の家電品
お客様サポート

詳しくはP.23をご覧ください。

もくじ

	ページ
安全上のご注意	3
使用上のご注意	6
上手なお洗濯をするには	7
洗濯の準備をするときは	7
洗濯槽への洗濯物の入れかた	7
脱水槽への洗濯物の入れかた	8
洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた	8
石けん(天然油脂)を使うとき	8
色移り・黒ずみを防ぐには	8
洗濯ネットを使うときのお願い	8
各部のなまえ・付属品	9
操作パネルのはたらき	10
お洗濯の順序	10
準備	10
① 洗い	12
② 中間脱水・脱水予備すすぎ	12
③ 本すすぎ	14
④ 脱水	14
後始末	15
いろいろなお洗濯のしかた	16
ドライマーク付きの洗濯物を洗うとき	16
毛布を洗うとき	16
お手入れのしかた	17
据え付け	18
修理を依頼される前に	19
別売り部品	20
仕様	20
保証とアフターサービス	20
マイページ(日立の家電品お客様サポート)のご案内	23
保証書	24

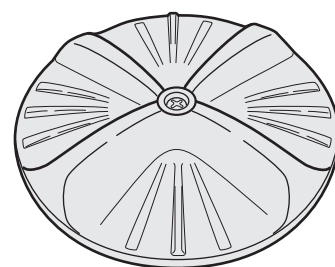
特長

つけおき洗いが簡単にできる 「つけおきタイマー」搭載

タイマーをセットすれば、20分間のつけおき洗いのあと、自動的に本洗いを始めてしっかり汚れを落とします。

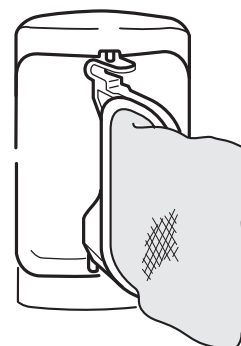
大型パルセータ

大きなパルセータで8.0kgが洗えます。



糸くずフィルター

左右いずれの回転でも、糸くずを捕集します



大形ステンレス脱水槽

大形ステンレス脱水槽でラクラク出し入れ。



安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかなますのでご了承ください。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



実行していただく「指示」内容のものです。



警告

電源プラグ・電源コードの発火や漏電を防ぐために (感電・けが、発煙・発火・火災のおそれ)



禁止

- 電源コードを傷つけない
 - ・傷つけない、加工しない ・無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない
 - ・加重をかけない、挟み込まない
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
- 傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない
- タコ足配線をしない、延長コードを使用しない



指示

- 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
- 電源プラグは根元まで差し込む
- 電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふき取る



プラグを抜く

- 電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く
- お手入れの際や長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く



アース線接続

- アース線を取り付ける
アース線を取り付けないと、漏電のとき感電することがあります。

本体の故障や事故を防ぐために (感電・けが・電気部品の損傷・本体の転倒のおそれ)



水場禁止

- 浴室など湿気の多い場所、屋外など風雨にさらされる場所に据え付けない
感電または電気部品を傷めるおそれがあります。



禁止

- キャスター付きの設置台や、不安定な場所に据え付けない
運転中の振動で本体が移動したり、転倒したりしてけがをするおそれがあります。

安全上のご注意（必ずお守りください） つづき



警告

運転時の爆発や火災を防ぐために（油の酸化熱による自然発火や引火のおそれ）



禁止

- 引火物や火気を洗濯槽・脱水槽に入れない、近づけない
・灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどおよびそれらの付着した洗濯物
・ローソク、蚊取り線香、たばこなど
- 揮発性溶剤(灯油、ガソリン、ベンジン、シンナーなど)やカセイソーダを使って洗濯しない
それらの付着したものを洗濯しない

感電、漏電、ショートによる火災を防ぐために（感電・発火・火災のおそれ）



プラグを抜く

- 本体が動かない、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
修理は販売店などにご相談ください。
- 本体にはり付いているシール類ははがさない



水濡れ禁止

- 本体各部や電源プラグに水や洗剤などをかけない

子どもの事故を防ぐために（洗濯槽・脱水槽の中に落ちてけがをするおそれ）



禁止

- 子どもに洗濯槽・脱水槽の中をのぞかせない、本体の近くに台を置かない
洗濯槽・脱水槽内に落ちてけがをしたり、感電、おぼれるおそれがあります
- 操作に不慣れな方だけでは使わせない
- 液体洗剤や柔軟剤は、子どもの手の届かないところ、見えないところに置く
液体洗剤や柔軟剤を誤飲するおそれがあります。



指示

- 付属品が梱包されているポリ袋は、子どもの手の届かないところに置く
ポリ袋を頭にかぶると、窒息するおそれがあります。

脱水槽への巻き込まれを防ぐために（ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがのおそれ）



接触禁止

- 脱水槽が完全に止まるまで、中の洗濯物などに手を触れない
洗濯物が手に巻きついてけがをするおそれがあります。
特に子どもには注意してください。
- 脱水中、ふたを開けてから15秒以内に脱水槽が止まらない場合は、使用を中止し、
修理を依頼する
けがの原因になります。

洗濯運転時の発泡を防ぐために（泡が多量に発生し、本体の故障・水漏れ・感電のおそれ）



指示

- 洗剤は表示に従って適量を入れる

注意

洗濯物・本体・周囲の壁や床の損傷を防ぐために

(脱水槽のバランスがくずれて異常振動が発生し、洗濯物・本体・周囲の壁や床の損傷、洗濯物の飛び出し、本体の転倒のおそれ)



禁止

●防水性の衣料・繊維製品は、洗濯槽・脱水槽には絶対に入れない

防水性の衣類は水を通さないため、洗濯・脱水をしても衣類の中に水が溜まっています。そのまま脱水をすると、たまった水が急激に移動し、回転バランスがくずれて異常振動が発生することがあります。異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損することがあります。また、本体が転倒することもあります。

— 防水性・繊維製品の例 —

釣具ウェア、スキーウェア、雨ガッパ、寝袋、サウナスーツ、ウェットスーツ、ウィンドブレーカー、紙おむつ、おむつかバー、自転車・バイク・自動車カバー、カーペット、防水性マット・シート、足ふきマットなど硬くて厚いものなど(洗濯物に洗える表示があっても洗わないでください)

けがを防ぐために



指示

●脱水運転中は脱水キャップを正しく入れる

洗濯物が飛び出して、けがをするおそれがあります。



接触禁止

●運転中は本体の下に手足などを入れない

●本体に手を置いてふたの開閉をしない

本体に手を置いてふたの開閉をすると、ふたと本体の間に指や手を挟むおそれがあります。

水漏れを防ぐために



指示

●排水口が掃除できるように設置する

排水口が詰まると、排水不良による排水口からの水漏れの原因になります。

排水ホースを排水口から外し、再度差し込む場合は、先端が排水管に確実に差し込まれていることを確認してください。

洗濯物の損傷を防ぐために



指示

●洗濯物のひもなどは結び、ファスナーやボタンを閉めてから洗濯槽・脱水槽に入れる

本体の損傷や故障、水漏れを防ぐために



禁止

●本体の上にのぼったり、重いものを載せたりしない

●洗剤を入れすぎない

排水口から泡があふれ、水漏れするおそれがあります。

●硬貨やヘアピン、つまようじなどの先のとがったものなどを洗濯槽・脱水槽内に入れない

洗濯物のポケットの中なども確認して、ある場合は取り除いてから洗濯槽・脱水槽内に入れてください。

●50℃以上のお湯を使用しない



指示

●ふたなどのプラスチック部品や、本体に洗剤(特に液体洗剤)や柔軟剤、漂白剤がついた場合は、湿った柔らかい布ですぐにふき取る

本体のさびの発生、破損、プラスチック部破損の原因になります。

●別売り部品の洗濯機用トレイ→(P.20)を設置する

床面を結露による水滴から守るときに、洗濯機用トレイをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。

使用上のご注意

よくお読みのうえ、正しくお使いください

■水圧が高い場合は水栓を絞る

給水ホースが外れたり、注水口以外から水が漏れることがあります。

■凍結の恐れのあるとき

残水を排水したあと、水流/排水切換を「標準」にセットしておいてください。

もし凍結したときは、約40℃のお湯を2L(リットル)程度入れ、パルセータが回るようになってからご使用ください。

■靴などを洗ったり、脱水したりしない

本体の故障や事故の原因になります。

■テレビやラジオを近づけない

テレビの画面が乱れたり、ラジオ・テレビの雑音の原因になります。

■電源プラグをコンセントから抜き、洗濯機を移動し、下側を掃除する

ほこりなどがモーターに入り込むおそれがあります。また、水漏れの点検にもなります。

■水はねが気になる場合はふたをする

床をぬらすのを防ぐためです。

■使用後は電源プラグを抜く

火災の原因になります。

■漂白剤を使うとき

●漂白剤を直接洗濯物にかけないでください。変色、布破れの原因になります。

●使用量および使いかたについては、漂白剤の表示に従ってください。

■入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の注意書きに従う

色移りや変色などを防ぐためです。

■洗濯ができないもの

次のような衣類は洗濯機で洗濯できませんので、ご注意ください。

●皮革・毛皮・羽製品、およびその装飾品付き製品



●レーヨン、キュプラおよびその混紡品 ・縮んだり、型くずれしたり、変色する場合があります。



●絹製品

・縮んだり、型くずれしたり、変色する場合があります。



●和服、和装小物製品



●強くよじった糸(強撚糸)を使用した製品(ウール、ちりめんなど)



●コーティング加工、樹脂加工、エンボス加工をした製品

●ベルベットなどのパイル地製品

●ネクタイ、スーツ、コート ・縮んだり、型くずれする場合があります。



●洗濯絵表示 や のあるものや、取扱絵表示がないもの、素材表示がないもの

●毛100%や毛足10mm以上の毛布、カーペットカバー

●靴

上手なお洗濯をするには

洗濯の準備をするときは

ご注意 取扱絵表示を確認してください。



糸くずが気になるものはネットに入れる

コーデュロイ(起毛素材の洗濯物)や濃い色の洗濯物、ストッキングなど、糸くずの付着が気になる洗濯物は、市販の「糸くず防止用洗濯ネット」に入れて洗ってください。



デリケートな洗濯物はネットに入れる

- レースのついた洗濯物やブラウス、ストッキング、タイツなどは、「洗濯ネット」に入れてください。
- ワイヤー入りブラジャーは、「ブラジャー専用ネット」に入れてください。



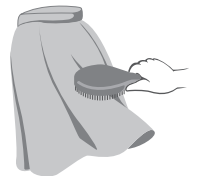
色落ちしやすいものは分けて洗う

著しく色落ちする洗濯物は分けて、同類の洗濯物を2~3枚まとめて洗ってください。



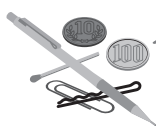
大きなゴミ、泥や砂、髪の毛、ペットの毛は取り除く

排水経路にゴミや異物が詰まり、故障の原因になります。



シャープペンシルなどは取り除く (ポケットの中も確認する)

衣類を傷めたり、槽の穴開きによる水漏れなどの故障の原因になります。



シャープペンシルやボールペンなどの鋭利なもの、マッチ棒、ヘアピン、硬貨などは取り除く

ひもは結んで、ファスナーは閉める

ファスナーなどによる洗濯物の傷みや、本体の故障を防ぐためです。



しみは早めに処理しておく

しみは時間がたつと落ちにくくなりますので、洗濯前に部分洗い洗剤などで処理しておく、より効果的です。



毛玉や糸くずが気になるものは裏返す・分けて洗う

- セーターなど糸くずが気になるものは裏返してください。
- 気になるものは、タオル、バスタオルとは分けて洗ってください。



洗濯槽への洗濯物の入れかた

大物や水に浮きやすいもの、厚手の洗濯物、洗濯ネットに入れた洗濯物から先に入れる

布の動きが良くなります。



上手なお洗濯をするには つづき

脱水槽への洗濯物の入れかた

- 衣類の飛び出しを防ぐために、脱水キャップを使用してください。
脱水キャップは水平にセットしてください。→(P.12)
- 脱水槽へ衣類を入れるときは、片寄らないよう均等に入れてください。
脱水槽が大きく振動し、正常な脱水が行えません。
脱水中、異常な振動がある場合は、脱水を止めて衣類を均等に調整してください。
- 木綿(特にタオル類)など水を多く含むものは、脱水槽全体に広げて平らに入れてください。
絞ったまま投入すると、衣類が片寄りやすいので、脱水槽が大きく振動するおそれがあります。

洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた

洗剤・漂白剤の使いかた

洗濯槽の底から10cm位に給水し、水をかくはんしながら洗剤を入れ、2分ほど運転します。→(P.12)
漂白剤を使用する場合は、洗剤と一緒に溶かしてください。→(P.13) 表3

柔軟剤の使いかた

すすぎの最後に柔軟剤を入れ、2～3分運転します。

石けん(天然油脂)を使うとき

洗濯機で直接溶かす場合

洗濯槽の底から10cm位に給水し、水をかくはんしながら石けん(天然油脂)を入れ、2分ほど運転します。

- 石けん(天然油脂)は、合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいので、すすぎを行ってください。
すすぎが十分でないと、黄ばみやにおいの原因になることがあります。
- 使用量が多すぎたり、低温の水に直接入れたりすると、溶け残った石けん分や石けんかすがホースや洗濯槽の内側に付着し、浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。

溶けにくい場合

- 1 30℃ぐらいのぬるま湯を、約5L(リットル)別容器に用意します。
- 2 かき回しながら、適正量の石けん(天然油脂)を少しずつ入れます。
石けん(天然油脂)が固まったり粒が残ったりしないよう溶かしたあと、洗濯槽に入れます。

色移り・黒ずみを防ぐには

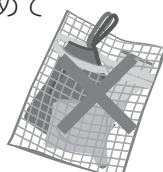
- 色落ちしやすいものは分けて洗ってください。
- 洗剤や柔軟剤は、表示に従って適量を入れてください。
洗剤が少なかったり、柔軟剤を入れ過ぎたりすると、黒ずみの原因になります。
液体洗剤を使用すると、黒ずみの原因になります。粉末洗剤をお試しください。

洗濯ネットを使うときのお願い

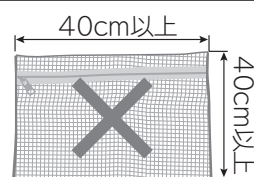
ネットには洗濯物を詰め込み過ぎないでください。



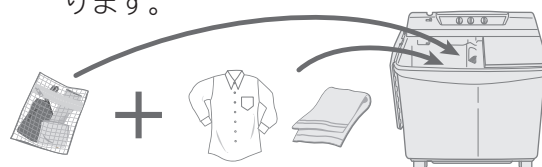
ネットのファスナーはきちんと閉めてください。



一辺が40cm以上の大きなネットは使用しないでください。
洗濯物が片寄り、運転できないことがあります。

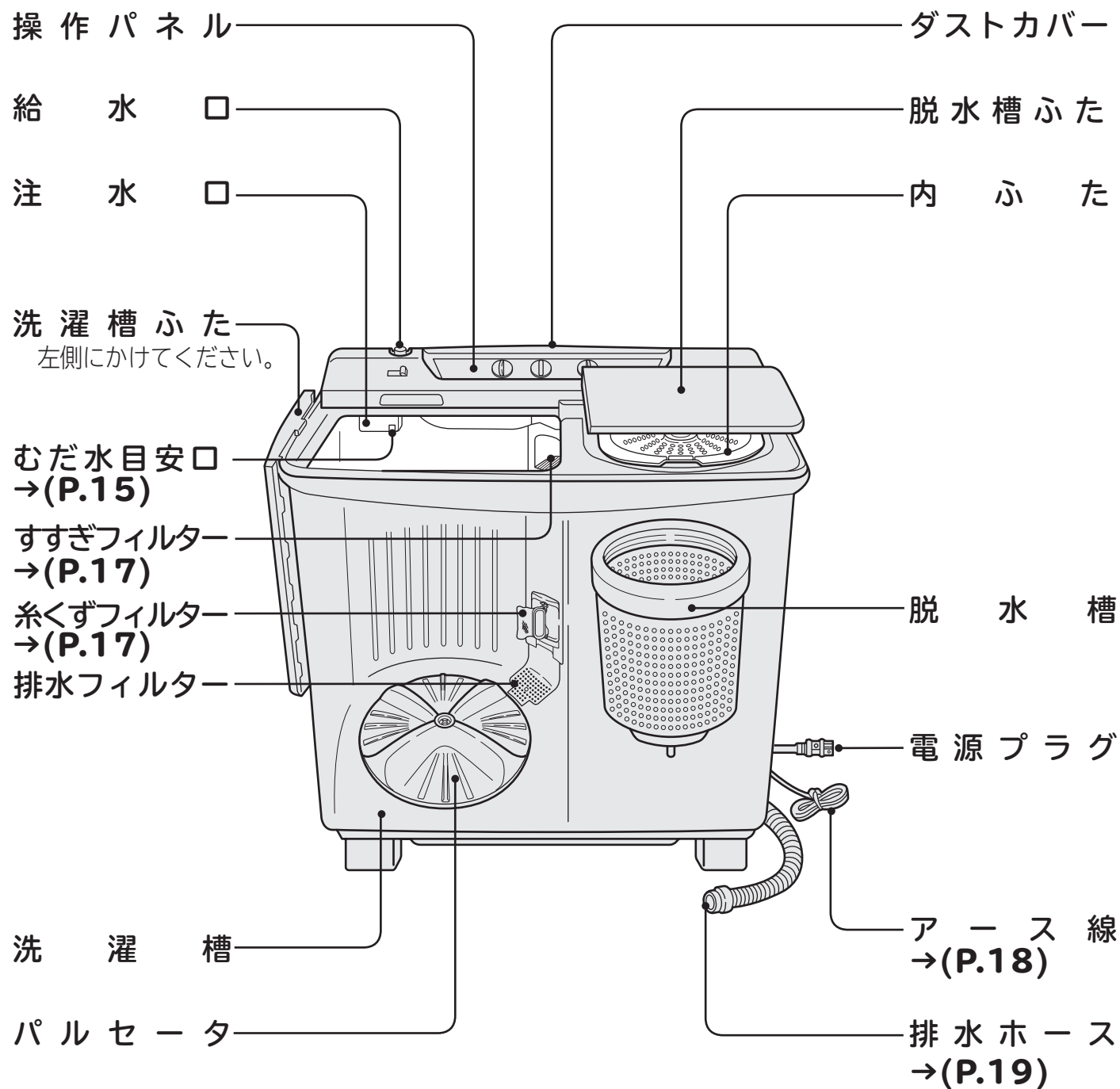


洗濯物を入れたネットだけで運転しないでください。
ほかの洗濯物を追加してください。



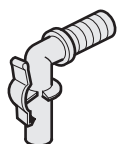
各部のなまえ・付属品

→(P.〇〇)カッコ内の数字は主な説明のあるページです。



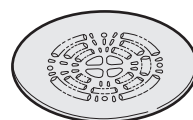
付 属 品

給水つぎて (1個)



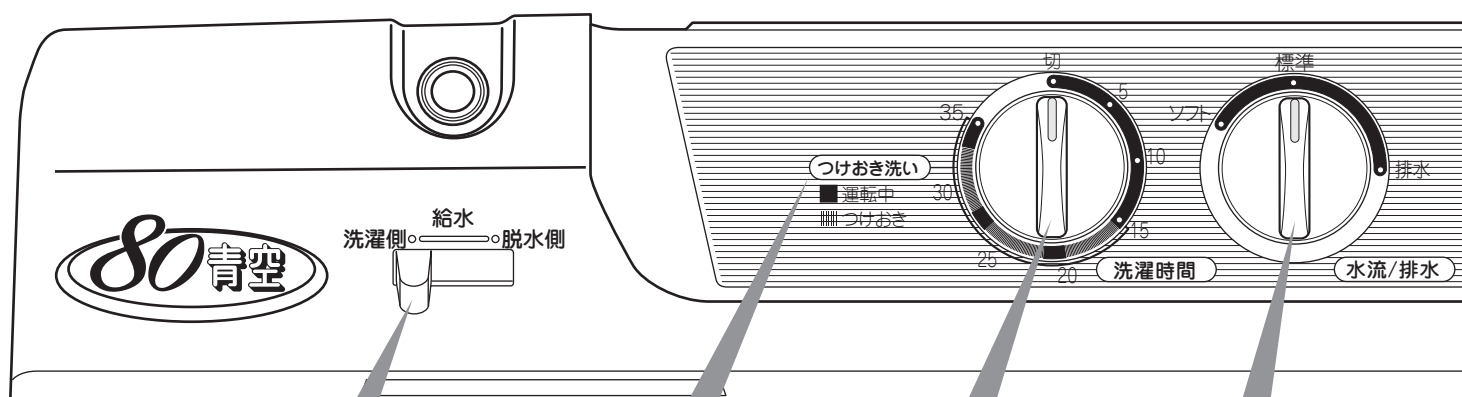
→(P.10)

脱水キャップ (1個)



→(P.12)

操作パネルのはたらき



給水切換

洗濯槽と脱水槽への給水の切り換えをします。

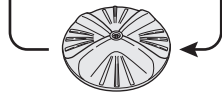
- 「脱水側」では“脱水予備すすぎ”ができます。

つけ置き洗いについて

■ 運転中
(自動反転運転)



||||| つけ置き
(運転休止)



洗濯タイマー

「洗い」や「すすぎ」をするときに回します。

- 5分以下でお使いのときは、いったん10分以上回してから戻してください。※1
- つけ置き洗いについては、→(P.11)をご覧ください。

水流/排水切換

「水流(標準またはソフト)」と「排水」の切り換えをします。

※1:時間が短い場合、タイマーが切れずに途中で止まり、モーターが回り続けるおそれがあります。

お洗濯の順序

→(P.〇〇)カッコ内の数字は主な説明のあるページです。

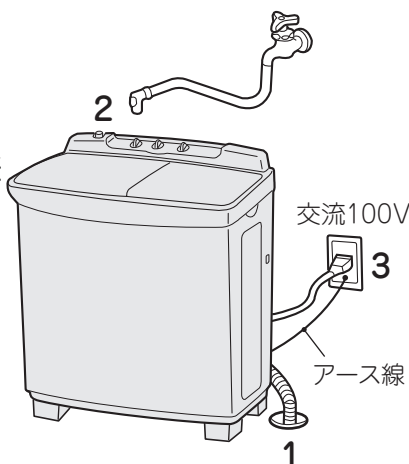
準備

1 排水ホースを排水口につなぐ。

2 給水つぎてを給水口に差し込み、つめがカチッと音がするまで差し込む。



3 アース線を接続し、電源プラグをコンセントに差し込む。

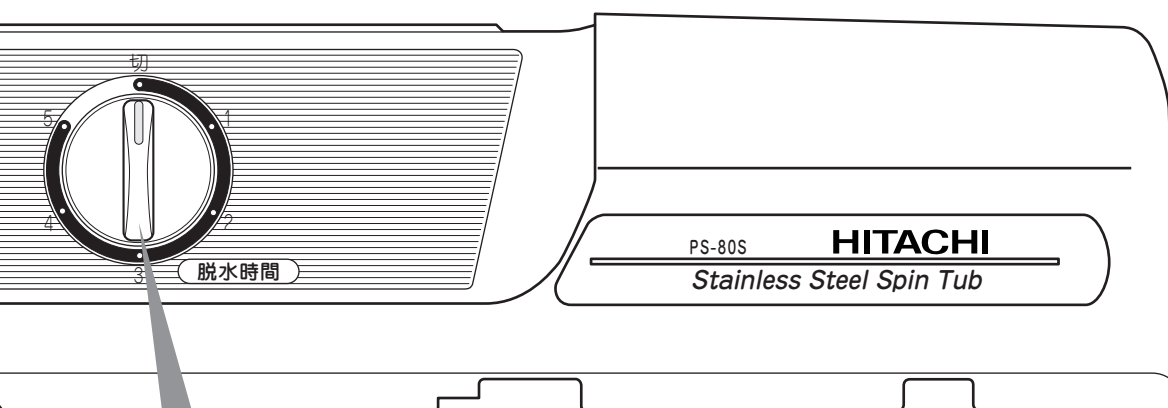


1

洗い

- 水流を選ぶ
- 洗剤を溶かす
- 給水する
- 洗濯タイマーをセットする

→(P.12)



脱水タイマー

脱水するときに回します。

- 1分以下でお使いのときは、いったん2分以上回してから戻してください。※1

つけおき洗いの機能・特長

- つけおき洗いにすると、洗濯効率が上がります。
- 標準洗いに比べ、しっかりきれいに洗えます。
- つけおき洗いをを使うには、洗濯タイマーのつまみを35分から15分の間の位置に合わせます。この位置から15分の位置につまみがくるまで、つけおき洗いで運転します。(■は運転し、パルセータが回転し、自動反転します。|||||は運転休止の状態で、パルセータは回転しません) 15分の位置からは、通常の洗濯運転が始まります。

ご注意

- 色落ちしやすい衣類は洗わないでください。
- 石けん（天然油脂）は使用しないでください。黄ばみや黒ずみになるおそれがあります。
- 入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の説明をお読みになり、ご使用ください。衣類への色移り（特にピンク系のもの）やステンレス槽をさびさせるもの（イオウ配合のもの）があります。

2

中間脱水・脱水予備すすぎ

- 脱水を2～3分する
- 約1分間給水する
- 1分間脱水する

→(P.12)

3

本すすぎ

- ためすすぎまたは注水すすぎをする

→(P.14)

4

脱水

→(P.14)

後始末

→(P.15)

お洗濯の順序 つづき

1 洗い

1 水流/排水切換を「標準」または「ソフト」にセットする	2 給水切換を「洗濯側」にセットする	3 洗剤を溶かす
 →(P.12) 表1		<p>1 洗濯槽の底から10cm位に給水する。</p> <p>2 洗剤を入れる。 ●漂白剤を使用する場合は、洗剤と一緒に溶かしてください。→(P.13) 表3</p> <p>3 洗濯時間を約2分(洗濯時間の切と5分の中間ぐらい)にセットし、洗剤を溶かす。 ●いったん10分以上回してから戻します。</p>

2 中間脱水・脱水予備すすぎ

1 洗濯物を脱水槽に入れる	2 ふたを閉める	3 脱水する
 洗濯物を脱水槽に均等に入れ、脱水キャップをパラサーの下端まで水平に入れます。 ●振動が大きくなったり、洗濯物が飛び出してけがをすることがあります。	 内ふた、脱水槽ふたを閉めます。	 脱水タイマーを2～3分に合わせます。

お洗濯の目安

表1 水流と洗濯時間

洗濯物の種類	洗濯時間	水 流	標準洗濯量
ひどい汚れ、厚物	10～15分	標準	8.0kg以下
麻・木綿など	8～10分		
普通の衣類(下着など)	7分		
化せんなどの汚れの軽いもの	2～5分		
手洗い表示のある毛100%、毛混紡のニット製品、薄い化せん	2～5分	ソフト	1.5kg以下

- 標準洗濯量はJIS(日本産業規格)で規定された布地を洗濯した場合のものです。洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗える量が変わります。
- 普通の衣類では標準洗濯量の7～8割程度が適当です。

表2 洗濯物の重さの目安

洗濯物の種類	生地の種類	1枚当りの重量
ブリーフ	綿100%	約 50g
靴下	綿100%	約 50g
タオル	綿100%	約 70g
長袖アンダーシャツ	綿100%	約150g
ブラウス	混 紡	約200g
ワイシャツ	混 紡	約200g
バスタオル	綿100%	約300g
パジャマ(上・下)	綿100%	約500g
シーツ	綿100%	約500g

4 洗濯物を入れ給水する

- 給水量が多すぎる(1分間に30L(リットル)以上の給水をする)と、脱水側へ水がもれることがあります。水量を調節してください。

5 洗濯タイマーをセットする

→(P.12) 表1

6 洗い終わったら

水流/排水切換を「排水」に合わせ排水します。

“本すすぎ”の前に“中間脱水”を行い、洗剤分を取っておきます。
さらに4～6の“脱水予備すすぎ”をすると“本すすぎ”の時間を短くでき、より節水できます。

4 ふたを開け、給水切換を「脱水側」にセットする

- 給水切換を「脱水側」にします。
- 脱水槽ふたを開けます。

5 約1分間給水する

- 給水量が多すぎる(1分間に10L(リットル)以上の給水をする)と、洗濯側へ水がもれることがあります。水量を調節してください。
- 脱水槽が回っているときは給水しないでください。
- 脱水槽に給水しても水はたまりません。

6 ふたを閉めて脱水する

給水を止めて、再び1分脱水します。

- いったん2分以上回してから戻します。

表3 水位と洗剤・柔軟剤・漂白剤量

●使用する洗剤・石けん・柔軟剤・漂白剤の容器に記載されている「使用量の目安」や「使用上の注意」をよくご覧になり、正しく使用してください。

標準 洗濯量		水位	水量	合成洗剤					石けん (天然油脂)		柔軟剤				漂白剤	
				粉末		液体			液体 中性	粉末	液体	濃縮		普通		
				(水30Lあたり)		(水30Lあたり)			(水30Lあたり)			(水30Lあたり)		(水30Lあたり)		
				20g	25g	10mL	20mL	25mL	40mL	36g	40mL	4mL	7mL	10mL	20mL	40mL
6.5~8.0kg		3	64L	43g	53g	21mL	43mL	53mL	85mL	77g	85mL	9mL	15mL	21mL	43mL	85mL
4.0~6.5kg		2	50L	33g	42g	17mL	33mL	42mL	67mL	60g	67mL	7mL	12mL	17mL	33mL	67mL
4.0kg以下		1	40L	27g	33g	13mL	27mL	33mL	53mL	48g	53mL	5mL	9mL	13mL	27mL	53mL

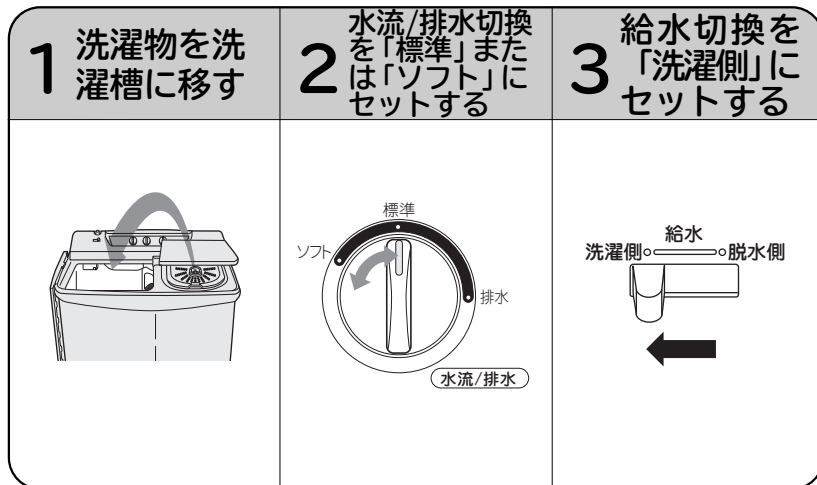
お洗濯の順序 つづき

3

本すすぎ

“本すすぎ”には“ためすすぎ”と“注水すすぎ”があります。

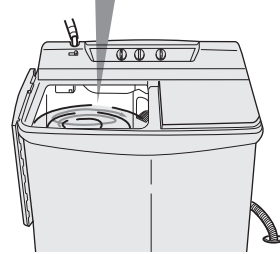
- “ためすすぎ” をすると節水になります。
- “注水すすぎ” は念入りにすすぎたいとき行います。



節水

ためすすぎ

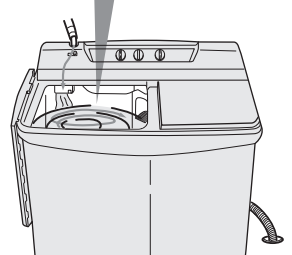
水をためてすすぐ



念入り

注水すすぎ

水を流しながらすすぐ



4

脱水

洗濯物を脱水槽に移し、脱水する。(中間脱水・脱水予備すすぎの1～3と同じ操作をします→(P.12))



警告



接触禁止

脱水槽が完全に止まるまでは、中の洗濯物に手などを触れない
ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがをするおそれがあります。
特に子どもにはご注意ください。



指示

脱水中、ふたを開けてから15秒以内に脱水槽が止まらない場合は、使用を中止し、修理を依頼する
けがの原因になります。

■脱水時間の目安

洗濯物	脱水時間
シーツ(木綿、タオル地)	3～5分
アンダーシャツ(木綿)	2～4分
ワイシャツ(混紡)	1～2分
薄物(化せん)	1分

- 脱水槽に洗濯物を入れずに脱水運転を行うと、「ピー」という風切り音がすることがありますが、これは脱水槽が高速で回転しているためであり、異常音ではありません。浴用タオルを1枚程度入れるとなくなります。

すすぎのポイント

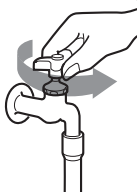
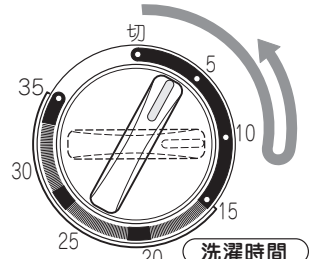
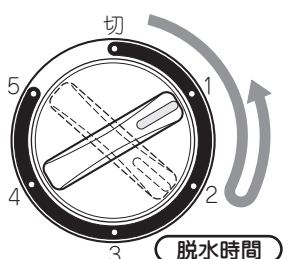
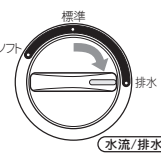
■ “洗い” 終了時に洗濯槽の底のあわ残りが気になる場合

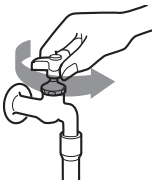

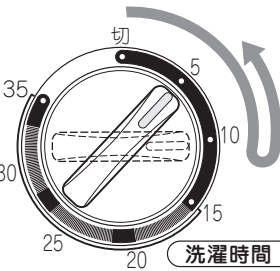
水流/排水切換を「排水」にして洗濯槽に給水しながら洗濯タイマーをまわしてパルセーターを約1秒間ほど回転させ、その後洗濯タイマーを「切」に戻す。この動作を3～4回繰り返してください。
(あわを水の中に巻き込ませるための操作です)

■ “すすぎ” 終了時に水面のあわ残りが気になる場合

“すすぎ” の最後に3分ほどソフト水流で注水すすぎをしてください。
あわ残りを少なくすることができます。

- “すすぎ” が終わった水を次の“洗い” に利用すると節水になります。

4 設定した水位まで給水する  <ul style="list-style-type: none"> ● 給水量が多すぎる(1分間に30L(リットル)以上の給水をする)と、脱水側へ水がもれることがあります。水量を調節してください。 水位に達したら水栓を閉めます。	5 洗濯タイマーを2～3分に合わせる  <ul style="list-style-type: none"> ● いったん10分以上回してから戻します。 	6 洗濯物を脱水槽に移し、1分間脱水する  <ul style="list-style-type: none"> ● いったん2分以上回してから戻します。 	7 脱水後1分ほどしてから排水する <ul style="list-style-type: none"> ● 脱水側の排水をよくするためです。  すすぎが不十分の場合は、4～7をさらに1～2回繰り返します。
--	---	---	---

4 設定した水位まで給水する  <ul style="list-style-type: none"> ● 給水量が多すぎる(1分間に30L(リットル)以上の給水をする)と、脱水側へ水がもれることがあります。水量を調節してください。 	5 水量を調節して給水を続ける <p>「むだ水目安口」から水があふれないよう、水量を調節します。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 注水すぎ時の水位は、洗濯水位より高くなっています。 * 水位線よりも内部のいつ水口が高くなっているためです。 	6 洗濯タイマーを3～5分に合わせてください <ul style="list-style-type: none"> ● いったん10分以上回してから戻します。 ● すすぎが終わったら水栓を閉めます。 ● 中間脱水・脱水予備すすぎを行っていないときは、7分にセットします。 
--	---	---

後 始 末

1 電源プラグをコンセントから抜く。

2 フィルターについた糸くずを取り除く。 →(P.17)



警告



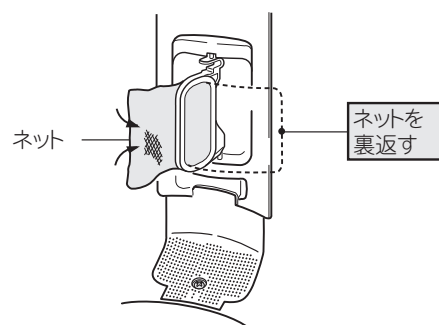
プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない感電やけがをすることがあります。



指示

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って引き抜く感電やショートして発火することがあります。



脱水のポイント

■脱水槽の外側に洗濯物が落ちたとき

1 電源プラグをコンセントから抜く。

2 お買い上げの販売店に連絡していただき、修理を相談する。→(P.21)







- くつ下やハンカチなどの小物は、飛び出しを防ぐため脱水槽の底の方に入れてください。
- 脱水中に異常音がしたら、脱水を止め、洗濯物を均等に入れ直してください。
- 排水をよくするため、脱水したあとで、洗濯槽の水を排水してください。
- 洗濯物は脱水槽に均一に入れてください。均一に入れないと、振動が大きくなることがあります。

いろいろな洗濯のしかた

ドライマーク付きの洗濯物を洗うとき

洗濯できるもの




衣類の取扱絵表示

-  (手洗いができる)表示または、 (洗濯機による洗濯ができる)表示のもの
  (ドライクリーニングができる)表示と、 または  表示の組み合わせのもの

■上記の絵表示があっても、洗えないものがあります。→(P.6)
クリーニング店にご相談することをおすすめします。

- セーター、カーディガン(ウールなど)
- スラックス、スカート(混紡など)
- ブラウス、シャツ、ワンピース(ポリエステルなど)
- 学生服、セーラー服



※  (家庭での洗濯禁止)表示のものは、洗濯機で洗濯できませんのでご注意ください。
  (石油系溶剤によるドライクリーニングができる)表示のものは、洗濯機は使用できません。

■水位の目安

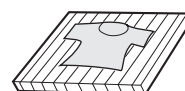
水位	洗濯物の量
3	1.5kg

■お洗濯の目安

水流	洗い	中間脱水	注水すすぎ	脱水
ソフト	約1.5分	30秒以下	約1.5分	30秒以下


お洗濯のポイント

- 毛、ニットの洗濯は約30℃のぬるま湯が適当です。
- 洗濯物は裏返しにして、市販のネットに入れ、洗濯液にしみ込ませてください。
- 汚れがひどいときは、あらかじめ洗濯液につけ置きすると(5分程度)効果的です。
- 干しかた
形くずれしないように、風呂のふたなどを使って平干しします。

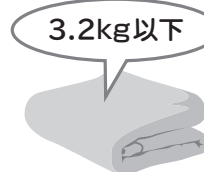


毛布を洗うとき

洗濯できる毛布

-  (手洗いができる)表示の毛布。
- アクリル、またはポリエステルのマイヤー毛布、タフト毛布、織毛布
[1枚の重さが3.2kg以下のもの]
- 洗濯できる電気毛布は、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。

ほかの洗濯物を追加しないでください。

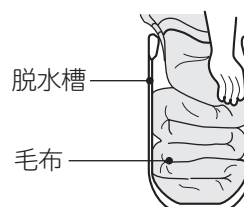


■お洗濯の目安

洗濯量	水位	水流	洗いかたの目安					
			洗濯時間	脱水	ためすぎ	脱水	注水すすぎ	脱水
3.2kg以下	3	標準	5分	1分	2分	1分	2分	3分

お願い

- 洗剤は合成洗剤を使用し、あらかじめ溶かしてください。
- 洗濯中に毛布が浮き上がった場合は、洗濯液に押し込んでください。
- 脱水槽に移すときは、軽く絞りながら、右の図のように脱水槽に入れてください。毛布脱水キャップをご使用ください。脱水キャップのセットのしかたは →(P.12)



お手入れのしかた

本体に付いたほこりや汚れは、湿った柔らかい布でふき取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。糸くずフィルターやすすぎフィルターはご使用ごとに清掃してください。

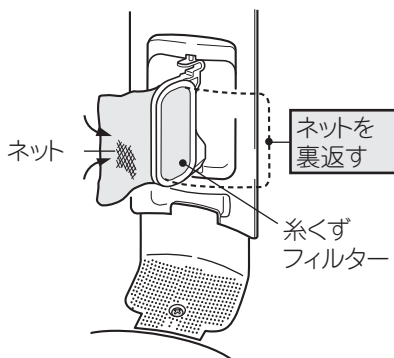
糸くずフィルター

●糸くずは湿っているときの方が、簡単に取れます。

■糸くずの取り除きかた

- 1 ネットを裏返しにして糸くずを取り除く。

- 2 ネットを元どおりに戻す。



お願い

糸くずフィルターは消耗品です。

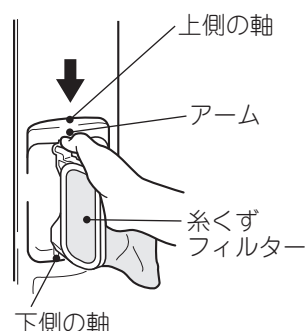
ネットが破れたときは、販売店でお買い上げください。→(P.20)

■糸くずフィルターを外すとき

- 1 アームを下の方向に押して、手前に引く。

- 2 元どおりにセットする。

- 上側の軸を穴に差し込み、下側の軸を合わせ押し込みます。



すすぎフィルターの清掃

- 1 つまみ部に指を入れて手前にひっぱり、すすぎフィルターを取り外して、糸くずを取り除く。

- 2 排水管の回りの汚れを取り除く。

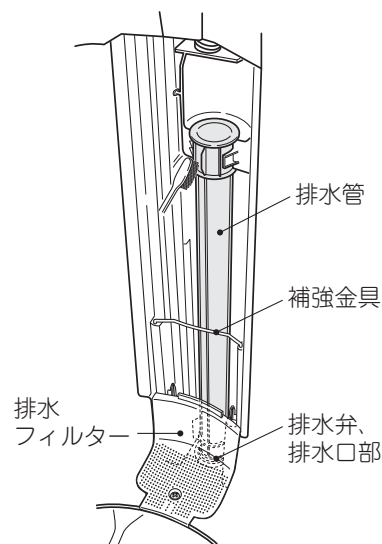
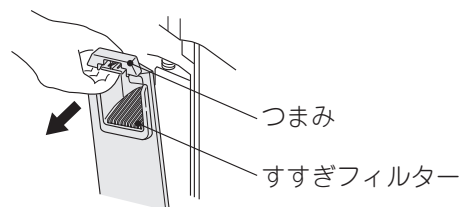
- 歯ブラシなどでこすり、水で洗い流してください。

- 3 排水弁についた糸くずや、排水口付近の砂や泥は、水流/排水切換を「排水」に合わせるか、排水管を上を持ち上げてから水で洗い流す。

- 清掃をしても洗濯水がホースから漏れたり、排水が良くできない場合には、お買い上げの販売店にご連絡していただき、点検を依頼してください。

- 4 元どおりにセットする。

※排水管を清掃中に補強金具が外れた場合は、右図の位置に補強金具を差し込んで取り付けてください。



お手入れのしかた つづき

脱水槽のお手入れ(清潔に脱水するために)

ご使用後は次の手順でお手入れをしてください。

脱水槽の中にヘアピンやピンなどのさびやすい鉄製品が残ったり、赤さびや鉄粉などの混じった水が槽内に残っている場合は、取り除いてください。さびが発生することがあります。

さびにご注意

ステンレス槽は、さびにくい性質を持っていますが、次のような場合には、さびが発生することがあります。

- ① ヘアピンやピンなどの、さびやすい鉄製品が槽に残り、接触したまま放置したとき。
- ② 赤さびや鉄粉などの混じった水が槽内に入って、赤さびが槽に付着したとき。

さびに気がついたら、市販のクリームクレンザーをスポンジか布につけて、さびを取り除いてください。
(詳しくは洗剤の表示をご覧ください)

- 金属たわしなどは槽を傷つけ、槽がさびやすくなりますので使用しないでください。

さびの発生を防ぐために、次のことをお守りください。

- 長期間、槽に洗濯物を入れたままにしないでください。



据え付け

初めてお使いになるとき、排水ホースから水が出ることがありますが、これは工場の性能テストの残水です。開梱時ほこりが付いていることがありますが、これは倉庫保管時に付いたものです。

洗濯機の据え付け

乾燥した風通しのよい、水平でしっかりした床に据え付けてください。

ご注意 ● 直射日光の当たる場所は避けてください。洗濯機の部品の変形、変色のおそれがあります。

アース線の取り付け

警告



アース線を取り付ける

アース線を取り付けないと、漏電のときに感電することがあります。

アース線接続

■アース線を取り付けてください。

- 万一の漏電時の感電事故を防ぐためです。
また、漏電遮断器の取り付けもお勧めします。
- アース線を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
- 据え付け場所の変更や転居の際には、アースの取り付けを行ってください。

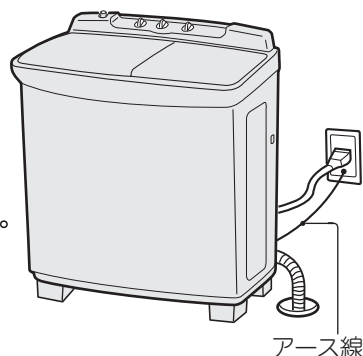
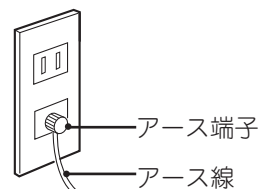
アース端子がある場合

アース線をアース端子に取り付けてください。

アース端子がない場合

アース工事をしてください。

電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう、法令で定められています。



注意



次のようなところには、アース線を接続しない(法令などで禁止)

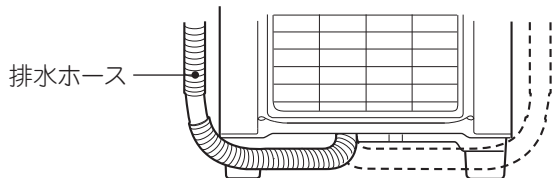
ガス管、電話線、避雷針、水栓(蛇口)

水道管は途中から塩化ビニール管になっているところが多いため避けてください。

禁止

排水ホースについて

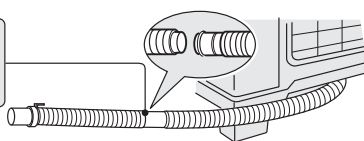
排水ホースは、洗濯機の後ろ側から出ています。排水ホースは左右に引き出せますので、排水場所にあわせてご使用ください。



■ホースが長い場合

ホースが長く余る場合は、ホースの途中にストレート部がありますので、ナイフなどでカットしてください。

ストレート部
先端の溝をカット
してください。



■排水ホースを延長する場合

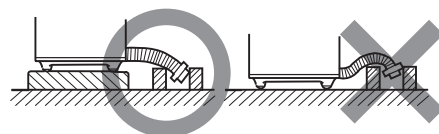
延長する部分の長さは2m以内にしてください。



ホースの延長には、別売り部品の排水ホース(部品番号KW-50K1 023)をお勧めします。→(P.20)

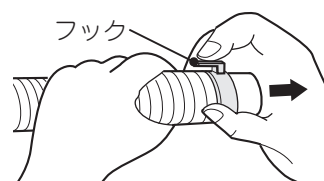
■排水ホースの途中が持ち上がる場合

洗濯機を台の上において、排水の流れをよくしてください。



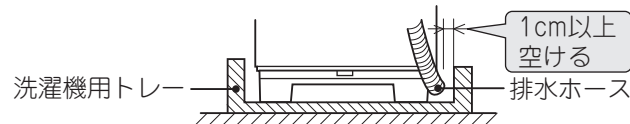
■フックが当たって、排水ホースが排水口に差し込めない場合

フックを回しながらひっぱって外します。



■洗濯機用トレイと組み合わせる場合

別売りの洗濯機用トレイを使う場合は、排水ホースがつぶれないように洗濯機用トレイと排水ホースの間を1cm以上空けてください。



修理を依頼される前に

異常が生じたときは、次の点検をしてください。

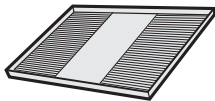
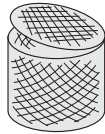

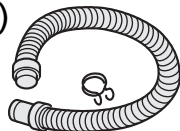
症 状	点検するところ	症 状	点検するところ
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ●電源プラグとコンセントが接触不良になっていませんか。 ●パルセータの周囲の残水が凍結していませんか。→(P.6) 	脱水ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●洗濯物が片寄っていませんか。 ●落ちた洗濯物が排水口をふさいでいませんか。 ●脱水槽の周りがあわでいっぱいになっていませんか。 ●排水ホースの途中が持ち上がっていませんか。また、2m以上延長されていませんか。
洗濯物の動きがよいくない	<ul style="list-style-type: none"> ●洗濯物を入れ過ぎていませんか。 	洗濯水がホースから漏れる	<ul style="list-style-type: none"> ●排水弁や排水口部に糸くず、砂やどろがたまっていませんか。→(P.17)
脱水槽が動かない	<ul style="list-style-type: none"> ●脱水槽ふたが閉まっていますか。 ●脱水槽の外側に洗濯物が落ち、軸に巻きついていませんか。(くつ下など) →(P.15) 	排水ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●排水フィルターやすすぎフィルターが糸くずで詰まっていませんか。→(P.17) ●排水ホースがつぶれていませんか。

次の場合は異常ではありません。

症 状	原 因
初めて使用するとき、排水ホースから水が出る	●工場の性能テスト時の残水です。
洗濯・脱水運転を開始したとき、キーンという音をする	●モーターの運転音で、起動時に一時的に生じる音です。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。

■洗濯機用トレー (YT-2) 希望小売価格 7,700円(税込)		■毛布洗いネット (MO-F40) 希望小売価格 3,080円(税込)	
■糸くずフィルター (NET-701) 希望小売価格 660円(税込)		■延長用排水ホース(約80cm) (KW-50K1 023) 希望小売価格 880円(税込)	

●上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

種 類	電気洗濯機		3 : 64 L	質 量	約34kg
電 源	100V 50/60Hz共用	標 準 水 量	2 : 50 L	定 格 時 間	洗濯側 : 40分
洗 濯 方 式	うず巻式		1 : 40 L		脱水側 : 10分
標準洗濯容量	8.0kg	外 形 寸 法	幅922mm×奥行509mm	消 費 電 力	洗濯側 285/340W
標準脱水容量	8.0kg		×高さ935mm	50Hz/60Hz	脱水側 185/190W



このJ-Mossグリーンマークは、特定の化学物質(鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB(ポリブロモビフェニル)・PBDE(ポリブロモジフェニルエーテル))の含有率がJIS C 0950:2008による基準値以下であることを示しています。(規定の除外項目を除く)

詳しい情報は、当社のホームページでご覧いただけます。 <https://www.hitachi-gls.co.jp/about/environment/jmoss/>

保証とアフターサービス (よくお読みください)

保証書(裏表紙)

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

部品について

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

また、部品共用化のため色などを変更する場合があります。

修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」→(P.21)にお問い合わせください。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。

ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

一般家庭用以外の目的でご使用になる場合

以下のような場合には、保証期間の対象外となります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検(有料)を受けてお使いになることをおすすめいたします。

●車両、船舶に搭載して使用された場合。

●理容院や美容院などの業務用使用、また、寮や病院などの共同使用により、1日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合、短期間で部品交換(駆動部ユニット、ベルトなど)が必要になることがあります。

愛情点検

★長年ご使用の洗濯機の点検を



ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか？

- 脱水槽が止まりにくい。
- 水漏れがする。(ホース、水槽、給水つぎで)
- こげくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。
- 本体にさわるとピリピリ電気を感じる。
- 据付が傾いたりグラグラしている。
- 電源を入れても、動かないときがある。
- タイマーが途中で止まることがある。
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- そのほかの異常・故障がある。
- 電源プラグが変形したり、電源コードにひび割れや傷がある。

ご使用
中 止

このような症状の
ときは、故障や事
故防止のため、電
源を切り、コンセ
ントから電源プラ
グを抜いて販売店
に点検・修理をご
相談ください。

この製品の使いかた・お手入れ・修理などは、お買上げの販売店へご相談ください

なお、転居されたり、贈り物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口

●お電話の前に、本取扱説明書の「修理を依頼される前に」もご覧ください。

TEL 0120-3121-11

携帯電話 050-3155-1111 (有料)

(FAX) 0120-3121-34

■受付時間：9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日、祝日)

年末年始は休ませていただきます。

《発信者番号通知のお願い》

「非通知」設定をされているお客様は、はじめに「186」を
ダイヤルしておかけください。

修理のご依頼や修理に関するご相談窓口

スマートフォンやタブレットから

①コードを読み取る



② 出張修理の Web 受付 ボタンから入力画面へ



③ 製品型式など必要情報を入力



コードが読み取れない場合やパソコンからは

●検索からアクセス

日立家電修理 WEB

検索

<https://kadenfan.hitachi.co.jp/support/inquiry/repair/web.html>

オペレーターとの通話をご希望の場合は

TEL 0120-3121-68

携帯電話 0570-0031-68 (有料)

(FAX) 0120-3121-87

■受付時間：9:00～18:00(月～土)、9:00～17:00(日、祝日)

《発信者番号通知のお願い》

「非通知」設定をされているお客様は、はじめに「186」を
ダイヤルしておかけください。

●ご相談・ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。

●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。


部品のご購入は、商品お買上げの販売店、お近くの日立の家電品取扱店(お取り寄せ)または下記の「パーツショップ」へご相談ください。
日立の家電消耗品・部品直販「パーツショップ」<https://parts.hitachi-cm.com/pshop/>

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】 (本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります)

	<p>【設計上の標準使用期間】 7年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。</p>
---	---

(設計上の標準使用期間とは)

- ・ 運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- ・ 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件

日本産業規格 JIS C9921-4による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	20℃	
	湿度	65%	
負荷条件	負荷	標準容量	取扱説明書の表示による
	コース	洗い(7分)→脱水(3分)→すすぎ(5分)→脱水(3分)	
	給水圧力	0.03~0.8MPa	
	給湯・給水温度	20℃±15℃	
使用時間 及び回数	1日の平均使用回数	1.5回	
	1回の使用時間	上記行程での時間(18分)	
	1年間の使用日数	365日	
	1年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回/年	

注記：温度20℃、湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。

(経年劣化とは)

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

長期使用製品安全表示制度 窓口(商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口)

TEL 0120-3121-11

携帯電話 050-3155-1111(有料)

■受付時間 9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日、祝日) 年末年始は休ませていただきます。

《発信者番号通知のお願い》「非通知」設定をされているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。

マイページ(日立の家電品お客様サポート)のご案内

ご登録(無料)いただくとスマートフォンやパソコンでお持ちの家電品を一覧管理でき、サポート情報や会員限定の特典などをご利用いただけます。

■家電品の登録 ※マイページへの会員登録が必要です(無料)。

① コードを読み取る



日立の家電品
お客様サポート

② 画面の案内に従って
家電品を登録 ※1



※1 家電品の登録には製品型式
や製造番号が必要です。
保証書または製品本体を
ご確認ください。

コードが読み取れない場合は、URLを入力して表示される画面の案内に従ってください。

<https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/>

■マイページ会員限定のアフターサービス特典のご紹介

webにてご依頼いただくと安全点検サービス割引

ご使用の家電品を長くご利用いただくために安全点検の標準技術料が10%引になります。

※本サービスには、不具合の改善や修理作業などは含まれておりません。

※一部対象外製品がございます。

パーツショップ送料特典

付属品や別売品をパーツショップ(日立の家電消耗品・部品直販インターネット販売)で
商品価格総額2,000円(税込)以上お買い上げいただくと送料が無料になります。

※代引きの場合は、代引き手数料が別途かかります。

※上記内容は予告なく変更する場合がございます。

■ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。

詳しくは、マイページ(日立の家電品お客様サポート)をご覧ください。

廃棄時にご注意ください。

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

保証書

修理を依頼されるときは(出張修理)

「修理を依頼される前に」→(P.19)に従って調べていただき、なお異常があるときはご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

■ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申し付けいただくときは、下記のことをお知らせください。

- 1.型式：表紙を確認してください
- 2.故障の状況：できるだけ詳しく

■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■補修性能部品の保有期間

日立電気洗濯機の補修性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理料金の仕組み

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

日立電気洗濯機 保証書

出張修理

※型式	
※お買い上げ日	年 月 日
保証期間 (お買い上げ日から)	本体：1年
※お客様	お名前 様 ご住所 〒 電話
※販売店	住所・店名 電話

※印欄に記入のない場合は無効となりますからご確認ください。記入のない場合、レシートまたはご購入を証明するものが代用となりますので、本保証書とともに大切に保管してください。

《無料修理規定》

1.取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

(イ)保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申し付けください。

(ロ)お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」→(P.21)にご連絡ください。

(ハ)この製品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書を必ずご提示ください。

2.ご転居の場合には事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

3.贈り物でいただいたものの修理などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」→(P.21)にご相談ください。

4.離島または離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。

5.保証期間内でも次のような場合には有料にさせていただきます。

(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。

(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。

(ハ)火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)、異常水質、異常電圧、異常水圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障または損傷。

(ニ)車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。

(ホ)一般家庭用以外(例えば業務用の長時間使用)に使用されて生じた故障または損傷。

(ヘ)本書のご提示がない場合。

(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

6.修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

7.日立電気洗濯機の修理以外(洗濯物の変色または損傷など)は、本書による保証の対象外となります。

8.本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

9.本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」→(P.21)にお問い合わせください。

●お客様にご記入いただいた保証書の写しの個人情報、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。